

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

共立女子大学・共立女子短期大学
2025年度入試 全学統一方式
2025年1月27日(月)

国 語

注意事項

1. この問題冊子は16ページあります。

大問	科目	ページ	選択方法	
一	現代文	1～5	必答問題	
二	現代文	6～12	選択問題	選択問題は出願時に登録した問題、いずれか1問を選択し、解答しなさい。
三	古文	13～16	選択問題	

2. 万一、落丁などがある場合は直ちに申し出ること。
3. 解答は全てマークシート解答用紙に記入すること。
4. 解答用紙には座席番号・氏名を必ず記入すること。
5. 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。
6. 選択問題は出願時に登録した問題を解答すること。登録以外の問題を解答した場合は無効となります。
7. マークシート解答用紙の記入に当たっては、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。
8. マークシート解答用紙に記載の「記入上の注意」をよく読んでから解答すること。
9. 解答は、マークシート解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある間に対して㊦と解答する場合は、次の(例)のように、10の解答欄の㊦にマークしなさい。

(例)

解 答 欄	
10	㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬

10. 試験終了後、試験問題は持ち帰ること。

国語

大問	科目	選択方法	
一	現代文	必答問題	
二	現代文	選択問題	選択問題は出願時に登録した問題、いずれか1問を選択し、解答しなさい。
三	古文	選択問題	

(必答問題)

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。(解答番号は

1 20)

人間が心に思うことを他人に伝え、知らしめるのには、いろいろな方法があります。たとえば悲しみを訴えるのには、悲しい顔つきをしても伝えられる。物が食いたい時は手真似で食う様子をして見せても分かる。その外、泣くとか、呻るとか、叫ぶとか、睨むとか、タン息するとか、殴るとか云う手段もありまして、急な、激しい感情をひと息に伝えるのには、そう云う方法の方が適する場合がありますが、しかしやや細かい思想を明瞭に伝えようとするれば、言語に依るより外はありません。【1】

なおまた、言語は他人を相手にする時ばかりでなく、ひとりで物を考える時にも必要であります。われわれは頭の中で「これをこうして」とか「あれをああして」とか云う風に独りごとを言い、自分で自分に云い聴かせながら考える。そうしないと、自分の思っていることがはつきりせず、纏まりがつきにくい。皆さんが算術や幾何の問題を考えるのにも、必ず頭の中で言葉を使う。われわれはまた、孤独を紛らすために自分で自分に話しかける習慣があります。強いて物を考えようとしなくても、独りでぼつねんとしている時、自分の中にあるもう一人の自分が、ふと囁きかけて来ることがあります。【W】、他人に話すのでも、自分の云おうとすることを一遍心で云ってみて、然る後口に出すこともあります。普通われわれが英語を話す時は、まず日本語で思い浮かべ、それを頭の中で英語に訳してからしゃべりますが、母国語で話す時でも、むずかしい事柄を述べるのには、しばしばそう云う風にする必要を感じます。されば言語は思想を伝達するキ関であると同時に、思想に一つの【B】を与える、纏まりをつける、と云う働きを持っております。【2】

そう云う訳で、言語は非常に便利なものでありますが、しかし人間が心に思っていることなら何でも言語を以てヒョウ白出来ない思想や感情はない、という風に考えたら間違いであります。今も云うように、泣いたり、笑ったり、叫んだりする方が、却つてその時の気持ちにぴったり当て嵌まる場合がある。黙つてさめざめと涙を流している方が、くどくど言葉を費やすよりも【C】の思いを伝える。もつと簡単な例を挙げますと、鯛を食べたことのない人に鯛の味を分からせるように説明しろと云ったならば、皆さんはどんな言葉を扱ひますか。恐らくどんな言葉を以ても云い現す方法がないであります。左様に、たった一つの物の味さえ伝えることが出来ないでありますから、言語と云うものは案外不自由なものであります。のみならず、思想に纏まりをつける

と云う働きがある一面に、思想を一定の型に入れてしまうと云う欠点があります。たとえば紅い花を見ても、各人がそれを同じ色に感ずるかどうかは疑問でありまして、眼の感覚のすぐれた人は、その色の中に常人には気が付かない複雑な美しさを見るかも知れない。その人の眼に感ずる色は、普通の「紅い」と云う色とは違うものであるかも知れない。

言葉で現そうとすれば、とにかく「紅」に一番近いのでありますから、やはりその人は「紅い」と云うのでありましょう。

「紅い」と云う言葉があるために、その人のほんとうの感覚とは違ったものが伝えられる。言葉がなければ伝えられないだけのことでありますが、あるために害をすることがある。返すがえすも言語は万能なものでないこと、その働きは不自由であり、時には有害なものであることを、忘れてはならないのであります。【3】

次に、言語を口で話す代わりに、文字で示したものが文章であります。少数の人を相手にする時は口で話したら間に合いますが、多数を相手にする時は一々話すのが面倒であります。また、口で云う言葉はその場限りで消えてしまうのでありますから、長く伝えることができない。

Z 言語を文章の形にして、大勢の人に読んで貰い、または最後まで残すと云う必要が生じた訳であります。ですから言語と文章とはもともと同じものでありまして、「言語」と云う中に「文章」を含めることもあります。厳密に云えば、「口で話される言葉」と「文字で書かれる言葉」と云う風に区別した方がよいかも知れませんが、同じ言葉でも既に文字で書かれる以上は、口で話されるものとは自然違つて来ないはずはありません。小説家の佐藤春夫氏は、「文章は口でしゃべる通りに書け」と云う主義を主張したことがありましたが、仮にしゃべる通りを書いたとしても、文字に記したものを眼で読むのと、それが話されるのを直接に聞くのとは、感じ方に違いがあります。口で話される場合には、その人の声音とか、言葉と言葉の間とか、眼つき、顔つき、身振り、手真似などが這入つて来ますが、文章にはそう云う

D がない代りに、文字の使い方やその他のいろいろな方法でそれを補い得る長所があります。なおまた口で話す方は、その場で感動させること主眼としますが、文章の方はなるだけその感(5)メイが長く記憶されるように書きます。従つて、口でしゃべる術と文章を綴る術とは、それぞれ別の才能に属するのでありまして、話の上手な人が必ず文章が巧いと云う訳には行きません。【4】

(谷崎潤一郎『文章読本』による)

注 佐藤春夫——(一八九二—一九六四)近代日本の詩人・小説家。『スバル』『三田文学』に詩や評論を発表。大正八(一九一九)年『田園の憂鬱』を発表し、小説家として文壇に注目された。

問一 波線部(1)～(5)のカタカナと同じ漢字を、それぞれ次のア～エから選んで、記号をマークしなさい。解答番号は(1) 1、

- | | | | | |
|-----|--|--|--|---|
| (2) | 2 、(3) | 3 、(4) | 4 、(5) | 5 。 |
| (1) | ア タン願 | イ 破タン | ウ タン鍊 | エ 冷タン |
| (2) | ア 要リヨウ | イ 官リヨウ | ウ リヨウ望 | エ 優リヨウ |
| (3) | ア キ量 | イ 危キ | ウ キ権 | エ キ発 |
| (4) | ア ヒヨウ着 | イ ヒヨウ価 | ウ ヒヨウ準 | エ ヒヨウ裏 |
| (5) | ア メイ動 | イ メイ誉 | ウ 鮮メイ | エ メイ柄 |

問二 空欄A～Dに入る語を、それぞれ次のア～エから選んで、記号をマークしなさい。解答番号はA 6、B 7、

- | | | | | |
|---|--|---|--------|--------|
| C | 8 、D | 9 。 | | |
| A | ア 文明 | イ 合理 | ウ 利己 | エ 原始 |
| B | ア 形声 | イ 形態 | ウ 形而 | エ 形骸 |
| C | ア 千差万別 | イ 千万無量 | ウ 千変万化 | エ 千言万語 |
| D | ア 要素 | イ 要因 | ウ 要件 | エ 要言 |

問三 問題文には次の一文が省略されている。入る位置としてもっとも適切なものを、問題文中の【1】～【4】から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 10。

言語がないとどんなに不自由かと云うことは、日本語の通じない外国へ旅行してみると分かります。

- ア 【1】 ① 【2】 ウ 【3】 ② 【4】

問四 空欄W、Zに入る語を、それぞれ次の㉠から選んで、記号をマークしなさい。解答番号はW 11、X 12、

Y 13、Z 14。

- ㉠ しかし ㉡ それから ㉢ ところで ㉣ そこで ㉤ つまり

問五 傍線部Iについて、問題文中で用いられている「常人」と同様の意味を表す語としてもっとも適切なものを、次の㉦から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 15。

- ㉦ 凡人 ㉧ 閑人 ㉨ 同人 ㉩ 通人

問六 傍線部IIの理由としてもっとも適切なものを、次の㉪から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 16。

- ㉪ 音声言語は人によって異なり、一定の意味が定着するのは困難であるから。
㉫ 話される内容を聞いても時間が経つと忘れてしまうから。
㉬ 話されている内容の全てを聞き取れるわけではないから。
㉭ 音声言語は一過性の表現行為であり、残存することはありえないから。

問七 傍線部IIIの方法として当てはまると考えられるものを、次の㉮から 三つ 選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 17。

- ㉮ 文章そのものをゆっくりと書く。
㉯ 一度下書きをした後、推敲をする。
㉰ 「……」や「——」、「！」などの記号を使用する。
㉱ 文字の大きさや太さに変化をつけながら書く。
㉲ 一度朗読してから文章に書き表す。
㉳ 二人称を「君」と表記したり「キミ」と表記したりする。

問八 傍線部Ⅳの理由としてもっとも適切なものを、次の㉑～㉕から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 18。

㉑ 文章を綴る術に長けていて人は、話すとき難しい言葉を遣いがちで、かえって聞き手に伝わりにくくなってしまうから。
㉒ 口でしゃべる術に長けている人は、自分の云おうとすることを心で云ってから話す傾向があり、話に纏まりがつかないことがあるから。

㉓ 口で話される言葉と文字で書かれる言葉にはそれぞれ異なる長短があり、人によっておのずと得意・不得意があるから。
㉔ 物事を伝え相手の心に長く記憶させておくには、口で話すよりも文字で書いた方がよいが、常に上手く書けるとは限らないから。

問九 問題文の内容に合致するものを、次の㉖～㉙から二つ選んで記号をマークしなさい。解答番号は 19。

- ㉖ 自分の思いを正確に伝えるには、言語のみに依るよりも、身振り、手真似などを加えた方がよい。
- ㉗ しゃべるのを直接聞くことと、しゃべった通りのことを文字に書いたものを読むことは同じではない。
- ㉘ 言語は便利なものであるが、細かい思想や感覚を一つの言葉にあてはめてしまうといった、不自由な側面もある。
- ㉙ 言語はおもにひとりでものを考える時に必要なものであり、自分の考えを纏めたり形にしたりする働きがある。
- ㉚ 言語は万能なものであるが、時に誤解を生んだり相手の心を傷つけたりするなどの害をもたらすこともある。

問十 問題文は、谷崎潤一郎『文章読本』の一部である。次の㉛～㉞のうち、谷崎潤一郎の作品でないものを選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 20。

- ㉛ 細雪
- ㉜ 卍
- ㉝ 刺青
- ㉞ 武蔵野
- ㉟ 痴人の愛

大問二・大問三は、出願時に登録した問題、いずれか一問を選択し、解答しなさい。

(選択問題)

二

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。(解答番号は

21

〜

37

)

われわれは時間や場所についていつもだいたいの見当をつけることができます。専門的には時間についてだいたいの見当をつける能力は時間の見当識、場所について見当をつける能力は場所の見当識といわれています。

人類は A を発明してこのような見当をつける能力を道具に頼るようになり、その分その力を退化させていますが、
「 i 」 必要になればだいたいのことはわかります。

【1】

ところが、大脳が損傷を受けると、時間の見当がつけられなくなることがあります。このような人は季節がわからず、冬であっても、夏です、と答えたりします。夏にそんな服装ますか?と本人のセーター姿を指摘しても、すぐにはピンときません。

あるいは午前か午後かがはっきりしなくなることもあります。時間を尋ねると、朝の一一時頃なのに、午後三時頃、などと答えます。

一日二四時間のうち、だいたい今はどのあたりか、一月三〇(三二)日のうち、だいたい今はどのあたりか、一年三六五日のうち、だいたい今はどのあたりか、などというおおよその見当がつかなくなるのです。

あるいは時間の経過がはっきりしなくなる場合もあります。

目が覚めると必ず、朝だ、と思ってしまう人がいました。「 ii 」 昼寝の後でも、目が覚めると、朝ご飯を食べると言い張って奥さんを困らせるのです。

普通はあまり考えなくても、だいたいの見当がつかます。深い洞窟にこもって夜昼の情報を遮断し、時計もなしで自由に暮らさせると、だいたい二四時間から二五時間の間くらいのリズムで寝起きするようになる、という実験があります。脳にはおおよそ一

日のリズムを測る仕掛けがあるのです。もう少し短い時間経過については「 iii 」 「腹時計」も結構役に立っています。

【2】

普段われわれは、このような内からの仕掛けと周囲からの情報を合わせて、だいたいの時間経過を判断しています。この判断が出来なくなると、一日の行動は基準を失い、まとまりを欠くものになってしまいます。

【3】

アフリカのブッシュマンは獲物を追って時には二日も三日も草原の中を移動することがあるそうですが、ちゃんと自宅へ戻ってきます。別に地図を持っていてはなりません。太陽や星の位置から東西南北を判断し、手掛かりになる地形や樹木などを記憶することで頭の中をしっかり地図を作り上げているのです。

大脳損傷では街の中で自分がどこにいるのかまったくわからなくなり、自宅へも戻れなくなってしまうことがあります。建物は見えているのですが、見えているだけで、方向を知る手掛かりにならなくなってしまいます。普通は別に考えるほどのこともなく、自転小屋があれば左へ曲がり、パン屋があれば右へ曲がり、内科医院の横に入り、という感じで歩いてゆきます。頭の中に地図が出来上がっていて、それに合わせて移動しているのです。この地図が壊れてしまうと、建物は建物としてしか見えず、方向や道順を判断する手掛かりとはならなくなってしまいます。

【4】

東西南北の感覚も頭の中の地図を描く上で重要な助けになります。街に住んでいる場合は文字情報がいくらかでもありますから、この感覚なしでも移動可能ですが、広い平原など手掛かりが少ないところではどうしても必要です。この感覚は子供の時の記憶が重要です。

II

地図を読むときも東西南北を考える時、この種の翻訳をやっている自分に気がつきません。もちろんこんな面倒なことを

しないで、見ただけで東西南北がわかる方がいいのですが、考え方の癖みたいなもので、今はあきらめて⑦います。もともとこの手の能力がないのでしょうか。

筆者の仲間は案外います。地図を見ても仙台は東京の東北方向、などと考えられず、東京の上でちよつと右のほう、などと覚えている人たちがそうです。南半球のオーストラリアのことを、イギリスやアメリカでは「下の方 down under」と呼ぶのだそうです。

ま、いずれにしても、時間の見当がつけられ場所の見当もつけられるから、われわれは安心して暮らせています。おおげさに言えば、時空間の広大な世界にしっかりと錨いかりを下ろして自分という船を停泊させている、その錨いかりみたいにならなければなりません。

大きな広がりの中で、正しく見当をつけるということの大切さは、時間や空間に限りません。自分がこれからやらなければならない問題の処理にこそ最もよく表れます。

たとえば何かの仕事を抱え込んだ時、だいたいこの程度のペースとこの程度の資料を読めばだいたいいけそうだ、という見当がうまくつけられて、たいしてあせらずに余裕で仕上げることの出来る人がいるかと思えば、その仕事にどれくらいのエネルギーを注ぎ込めばよいかまったく見当がつけられずに、「iv」見当をつけようともせず、こんなものすぐ出来るかとたかをくくって遊びほうけ、間際になってあせりまくって、結局何も出来ずに終わってしまう人もいます。試験でも、ここは先生がかなり熱を入れて授業していたな、大事などころに違いない、という見当がつく人と、つかない人がいます。授業の内容だけでなく、その重要さの程度を教師の態度と合わせて、大きな立場から眺められるから、見当がつくのです。

見当をつけるためには地図が必要です。

地図は点ではなく、**C** から出来ています。たくさん地点がそれぞれに関係を持っているのが地図です。仕事をどのくらいで仕上げるかという見当も、この試験ではどこが重要かという見当も、仕事にからむ周辺の知識、あるいはその試験についての授業全体の知識、つまり **C** の知識が作り上げられていないと、つけようがありません。

見当づけはヤマカンとは違います。ヤマカンは C の知識なしで、エイヤツと目的地点に達しようとするわけですから、うまくゆくわけがありません。たとえばうまくいったとしても、その時かぎり以後には何も残りません。

人生の節目節目で、われわれはいろいろな選択や決断を迫られますが、その決断も複数ある選択肢のどれでもいいや、箸の倒れた方向へ行こう、という選択や決断ではうまくゆきません。そんなやりかたは試験のヤマカンと一緒に ^{IV} 自分は何をしたいと思っているのか、どの程度のことをしたかと思っているのか、あるいは今選ぼうとしていることが自分の性格に合っているのかどうか、その方向を選べばその後の生活はどのような方向へ向かうのか、それで後悔しない方向なのかどうか、などということについてあらかじめある程度の考えを持っていないと、見当をつけられません。

見当をつける、というのは扱っている問題を一度手元から離して、遠い距離から眺め、他の問題とのかかわりがどうなっているのかという大枠を知ることです。全体像を掴む ^{つか} ことです。英語ではパースペクティブと言います。日本には大局観という言葉があります。また、英語から輸入され、日本語でも定着していることわざに「木を見て森を見ず」というのがあります。あるいは「D」ともいいます。細部にこだわって見当をつけられない愚かな状態のことを笑っているのです。部分的な、狭い知識だけでは全体がどうなっているのかは判断出来ません。大きな立場から見ると、それまで見えていなかったことが見え、わからないこともわかるようになります。

(山鳥重『「わかる」とはどういうことかー認識の脳科学』による)

注 ブッシュユマン——南部アフリカのカラハリ砂漠に住む狩猟採集民族。

問一 波線部「いいいます」の動詞と異なる活用の型を持つ動詞を、本文中の①～④から 四つ 選んで、記号をマークしなさい。解答

番号は 21。

- | | | | | |
|-------|--------|---------|---------|--------|
| ① 尋ねる | ② こもって | ③ 暮らさせる | ④ 欠く | ⑤ 追って |
| ⑥ 歩いて | ⑦ 壊れて | ⑧ 描く | ⑨ あきらめて | ⑩ 表れます |

問二 空欄 A に入る語の組み合わせでもっとも適切なものを、次の㉠～㉤から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は

22。

㉠ 枱ますや物指ものさし

㉡ 時計や暦

㉢ 天秤てんびんや貨幣

㉣ 羅針盤や天体図

問三 次の二文のまとまりは本文中のどこに入れるのがもっとも適切か、【1】～【4】から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 23。

自分の居場所を知るのも大切な能力です。

この力も地図や磁石や標識（言語）に頼るようになって、だんだん退化してはいますが、脳の基本的な能力の一つです。

㉠ 【1】

㉡ 【2】

㉢ 【3】

㉣ 【4】

問四 空欄「 i 」「 ⅰ 」「 iv 」「 ⅳ 」に入る語を、それぞれ次の㉠～㉤から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は i 24、

ii 25、

iii 26、

iv 27。

㉠ たとえ

㉡ それでも

㉢ どうか

㉣ いわゆる

問五 大脳損傷の患者に、傍線部 I 「建物は見えているのですが、見えているだけで、方向を知る手掛かりにならなくなってしま

うのです」のような症状が現れる原因として、もっとも適切なものを、次の㉠～㉣から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 28。

㉠ 道順によって建物の見え方が異なるから。

㉡ 建物についている文字情報を誤読するから。

㉢ 内なる方向感覚と建物の向きが一致しないから。

㉣ 建物にまつわる記憶を呼び起こすことができないから。

問六 IIに入る次の㉠㉡の文を、この段落中の前後の文脈に注意しながら正しい順に並べ替えて、それぞれ第二番目、四番目、七番目の文の記号をマークしなさい。解答番号は第二番目の文の記号 29、四番目の文の記号 30、七番目の文の記号

31。

- ㉠ 今、南を向いているとします。
- ㉡ 筆者などは後者で、しばらく考える必要があります。
- ㉢ そうすると、右手は西で、左手は東、背中が北になります。
- ㉣ あたりまえですが、この判断がすぐ出来る人と、少し時間をかけなければ出来ない人があります。
- ㉤ つまり、子供の頃にすっかり焼き付けられた方向感覚を一回一回今の状況に重ねないと、判断が出来ないのです。
- ㉥ しばらく何を考えているかという点、子供の時に自宅の縁側に腰掛けて座っている自分を思い出しているのです。
- ㉦ この時の正面が南で、左手が日が昇ってくる東の方、右手が日が沈む西の方と思い出し、だからこっちは西かななど考えるので、時間がかかってしまいます。

問七

空欄

B

に入る表現としてもっとも適当なものを、次の㉠㉡から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は

32。

- ㉠ 自分の心を安定させる働き
- ㉡ 自分に航路を辿らせる働き
- ㉢ 自分の行動範囲を狭める働き
- ㉣ 自分に大海原を思い出させる働き

問八

空欄

C

(三か所)に入る、もっとも適切な漢字一字を、次の㉠㉡から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は

33。

- ㉠ 線
- ㉡ 面
- ㉢ 絵
- ㉣ 場

問九 傍線部Ⅲ「ヤマカン」は合わせて三か所に使われているが、どういう意味か。同じ意味を表す語を、次の㍑～㍷から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 34。

- ㍑ 第六感 ㍲ 洞察力 ㍳ 当て推量 ㍴ 先見の明

問十 傍線部Ⅳに関連して、問題文の考えと一致しているものを、次の㍑～㍷から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は

35。

- ㍑ 見当をつけることは、自分の無限の可能性を信じ、広い世界に飛躍するための手段となる。
㍲ 見当をつけることは、過去の不完全な自分を直視し、失敗の原因を追究する際に機能する。
㍳ 見当をつけることは、進むべき方向を定め、自己分析に基づき行動する際に効果的に働く。
㍴ 見当をつけることは、自分探しをする際に、変えられない未来を変えるきっかけを作る。

問十一 空欄 D に入ることわざとしてもっとも適切なものを、次の㍑～㍷から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は

36。

- ㍑ 管を以て天を窺うかがう ㍲ 論語読みの論語知らず
㍳ 爪で拾みって箕みでこぼす ㍴ 井の中の蛙かむす、大海を知らず

問十二 本文につけるタイトルとしてもっとも適切なものを、次の㍑～㍷から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 37。

- ㍑ 全体像がわかること ㍲ 眼前の問題を注視すること
㍳ 時間と空間の見当識を持つこと ㍴ 内なる手掛かりを研ぎ澄ますこと

大問二・大問三は、出願時に登録した問題、いずれか一問を選択し、解答しなさい。

(選択問題) 三

次の文章は『讃岐典侍日記』の一節である。堀河天皇が崩御し、作者は幼い鳥羽天皇(堀河天皇の子)に仕えているが、一年以上たつてもなお悲しみは尽きず、昔のことばかり思い出して過ごしている。問題文を読んで、後の間に答えなさい。(解答番号は

21

 ～

40

)

(夜が) 明けぬれば、いつしかと起きて、人々、「A

めづらしき

 ところどころ見ん」とあれど、具して歩かば、

①

 いかがもののみ思ひ出でられぬべければ、ただほれてゐたるに、

注1

 御前のおはしまして、「いざ、いざ。

注2

 黒戸の道をおれが知らぬに、

②

 教へよ」とおほせられて、

③

 引き立てさせたまふ。

参りて見るに、清涼殿、仁寿殿、いにしへに変はらず。台盤所、昆明池の御障子、今見れば見

④

 人にあひたる心地す。弘徽殿に皇后宮おはしましたしを、

注4

 殿の御宿直所になりたり。黒戸の小半部の前に植ゑおかせたまひし前栽、心のままにゆくゆくとおひて、御春有輔が、

君が植ゑしひとむら薄虫の音のしげ野べとも

③

 なりにけるかな

といひけんも、思ひ出でらる。御溝水の流れに並み立てるいろいろの花ども、いとめでたきなかにも、萩の色こき、咲きみだれて、朝の露玉をつらぬき、夕べの風なびくけしき、ことに見ゆ。これを見るにつけても、御覽せましかば、いかにめでさせたまはましと思ふに、

萩の戸におもがはりせぬ花見ても昔をしのぶ袖ぞつゆけき

と思ひゐたるを、人にいはんも、おなじ心なる人もなきにあはせて、ことのはじめに漏り聞こえん、よしなければ、承香殿を見やるとつけても、思ひ出でらるれば、里につくづくと思ひつづけたまはんとおしはかりて、これを奉りしかば、

「思ひやれ心ぞまどふもろともに見し萩の戸の花を聞くにも

問三 太線部(a)～(c)の活用形を、それぞれ次の㉠～㉣から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は(a) 29、(b) 30、

(c) 31。

- ㉠ 未然形 ㉡ 連用形 ㉢ 終止形 ㉣ 連体形 ㉤ 已然形 ㉥ 命令形

問四 点線部(1)・(2)の敬語の種類として適切なものを、それぞれ次の㉠～㉣から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は

(1) 32、(2) 33。

- ㉠ 尊敬語 ㉡ 謙讓語 ㉢ 丁寧語

問五 二重傍線部の解釈としてもっとも適切なものを、次の㉠～㉣から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 34。

- ㉠ 鳥羽天皇がこの庭の様子を御覧になったとしたら、どれほどお褒めになったであろう
㉡ 鳥羽天皇がこの庭の様子を御覧になることはないので、どうにかして褒めてもらいたい
㉢ 堀河天皇がこの庭の様子を御覧になったとしたら、どれほどお褒めになったであろう
㉣ 皇后宮がこの庭の様子を御覧になったとしたら、いつまでも褒めてくださったであろう

問六 波線部Ⅰ～Ⅲの動作の主体としてもっとも適切なものを、それぞれ次の㉠～㉣から選んで、記号をマークしなさい。解答番号

号はⅠ 35、Ⅱ 36、Ⅲ 37。

- ㉠ 鳥羽天皇 ㉡ 堀河天皇 ㉢ 皇后宮 ㉣ 殿 ㉤ 作者

問七 本文には季節がわかる記述が含まれている。その季節を、次の㉑～㉕から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は

38。

- ㉑ 春 ㉒ 夏 ㉓ 秋 ㉔ 冬

問八 本文の内容に合致するものを、次の㉖～㉙から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 39。

- ㉖ 堀河天皇が崩御したのち、内裏の様子は全て昔とすっかり変わってしまった。
㉗ 鳥羽天皇は自分勝手なところがあり、作者は振り回されてばかりで疲弊していた。
㉘ 作者は、美しい庭を見ながら和歌を詠み、ずっと泣き続けていることを女官たちに伝えた。
㉙ 里にいる同僚は、萩の戸の花のことを聞くだけでも昔を思い出して悲しいと作者に伝えた。

問九 『讃岐典侍日記』は、平安時代後期に書かれた作品であるが、それ以降に書かれたとみなされている作品を、次の㉚～㉜から二つ選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 40。

- ㉚ 蜻蛉日記 ㉛ 方丈記 ㉜ とはすがたり ㉝ 更級日記 ㉞ 枕草子